

2021年度 学校法人 滋慶学園 北海道ハイテクノロジー専門学校 学校関係者評価委員会 【最終評価】

【令和4年6月15日実施】

2021年度自己点検自己評価(令和2年4月1日～令和3年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己点検・自己評価項目 【総括】・【課題と改善案】	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	自己評価	学校関係者 評価
				優れている…3 適切…2 改善が必要…1	優れている…3 適切…2 改善が必要…1
1 教育理念目的 育成人材像	1-1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	【総括】 1. 建学の理念・目的について 職業人教育を通じて社会に貢献するというミッションを持ち、3つの建学の理念と4つの信頼を得ることで、業界から必要とされる即戦力人材を養成することを目的として、学校運営に努めている。 2. 育成人材像について 学園の理念・目的・育成人材像を明確に定め、職業人教育を通じて社会に貢献する。業界に直結した専門学校として業界と連携して人材を養成する。 3. 特色について 『産官学協同教育』で、産業界で活躍するリーダーシップを発揮出来る人材を養成し、地域創生に貢献を目的とする。また、一人ひとりの学生の可能性を最大限に開花させる教育プログラムを行っている。  【課題と改善案】 産官学協同教育を柱とした教育環境の整備と連携強化 ⇒業界・行政との連携を強化することで、ハイテクにしかない最先端の学び、新しい学び方を展開する。 ※今後計画しているもの:SEGAとの教育連携協定の締結。 ※実施中のもの:東京のAI企業と共同で、バーチャルヒューマンラボを実施中。 現在計画中のもの:東京のセキュリティ企業と共同で、セキュリティトレーニングセンターを設置する。	1. 地域創生と学びを繋げる産官学協同教育を目指し、地域と共に学生を育成出来る環境づくりを行っている。 2. 恵庭消防と救命士学科及びITメディア学科の学生が連携し、救命講習会への参加を呼び掛けるPR動画を作成した。動画の構成、出演、編集までを本校の学生が担当した。 3. 札幌市青少年科学館と宇宙・ロボット学科が包括連携協定を締結し、今後、医療や科学の最新テクノロジーを子供たちに向けて今後紹介していく。	3	3.0
	1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか				
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか				
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱えているか				
2 学校運営	2-2 運営方針は定められているか	【総括】 1. 学校運営・事業計画について 学校の組織目的と中期的学校構想のもと事業計画を作成し、教職員研修にて方針・計画を公表し教職員全員で共有している。 2. 組織運営について 学校の事業計画は毎年3月初旬に研修を行い、全教職員へ周知徹底している。 3. 意思決定システム・情報の一元化について 運営方針の実現のための学校運営会議及び職員全体会議、学科会議を通じて、問題点や課題を明らかにし、速やかに解決策を出し実行している。  【課題と改善案】 1. 問題を早期に発見し対策を立て実行する会議運営 運営会議を意思決定の中心に置き、マネージャーの運営力を高め、事業計画を遂行できる組織にする。学科会議には学校責任者が入り、問題を早期に発見し対策を立て実行するプロセスを徹底する。	1. 5か年を見据えた事業計画をもとに、事業方針をスタッフに明示し考え方の統一を図っている。また、日ごとに発生する問題や課題に対しては、各部署のマネージャー(学科長・センター長)が中心となり、月一回行われる運営会議や、月二回実施している広教会議を通じて、対策の立案、実行のプロセスを練り上げ、スピード感ある運営を目指している。それにより、マネージャー自身の運営力を高める人材育成の場としても、会議は有効に機能している。	3	3.0
	2-3 事業計画は定められているか				
	2-4-1 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか				
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか				
	2-5 人事や資金での処遇に関する制度は整備されているか				
	2-6 意思決定システムは確立されているか				
	2-7 情報システム化等による業務の効率化が図られているか				
3 教育活動	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	【総括】 1. 教育目標・教育課程・評価基準について 学園の理念のもと、各学科の養成目的と教育目標を定め、修業年限に応じた教育達成レベルを明確に設定し、教育活動を実施している。成績評価・単位認定の基準は示されている通り、明確に学生に公開している。 2. 資格取得の指導体制について 国家試験対策センターを組織し、学園グループ間で成功事例を共有し、問題点を検討する体制が整っている。 3. 教員・教員組織について 教育資格並びに資質強化のため、各種研修(国家試験対策研修、教育学会、マネジメント研修、カウンセリング研修など)を充実させ、教員のスキル・マインドの強化を図っている。  【課題と改善案】 多様化する学生に対応出来る授業の実施及びクラスマネジメント力の強化 ⇒学科事業計画を意図したクラス事業計画の設定と、クラスのマネジメント力向上を目的とした研修実施を計画(導入教育研修、カウンセリング研修など)している。  オンライン授業の質の向上 ⇒従来のオンライン授業方法から更にステップアップするための研修(SharePoint研修、教務研修)などを実施している。	1. 教職員の専門性の向上を目的として、専門分野ごとの教育部署で研修を実施している。また、キャリア教育研修など、マネジメント力の向上を目的とした研修を実施している。 2. 年2回の職業実践専門課程認定の教員研修会へ参加し、教員の資質向上に努めた。 3. 産官学連携教育の成果として、恵庭消防と連携した救命講習会への参加を呼び掛けるPR動画が完成した。この動画は、今後恵庭市の普及活動の一環として利用されていくことになっている。	3	3.0
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか				
	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか				
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか				
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか				
	3-9-4 授業評価を実施しているか				
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか				
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか				
	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか				
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか				
	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか				
	3-12-2 教員の資質向上への取り組みを行っているか				
	3-12-3 教員の組織体制を整備しているか				
4 学修成果	4-13 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	【総括】 1. 就職率について 「地域創生」や「産官学連携」推進の集大成として一人ひとりを大切に就職支援を継続し、就職希望学生全員が就職先を勝ち取ることを出来るサポートを行った。 【結果】 就職内定率100%(昨年98.4%) 第一専門職就職率85.5%(昨年94.6%) 2. 資格取得率の向上に向けて 4月に「専門基礎テスト」を医療系全学科で実施することで、学生の状況を早期に発見する体制が整っており、結果を踏まえた面談や個別サポートを実施している。 また、関連サポート企業であるJESCOの協力を得て、教員向けの国試対策研修の実施、並びに模試結果を分析しリスク学生や学生ごとのウイークポイントのフィードバックを学科ごとに実施し、学生個々の学習支援に役立てた。  【課題と改善案】 学生一人ひとりの学習状況に応じた支援策を講じる必要がある。 ⇒入学時の基礎学力テストにより、要支援学生の早期発見とサポートを実施する。また、正課外の補習や個別対応など支援体制を整える。 また、第一専門職の内定率向上に向けた、早期の意識づけが必要だと思われる。	1. ドローンを導入している「恵庭市消防本部」と連携し、ドローンライセンス取得のための座学・実技の授業に現役消防士が訓練として参加。学生は現場を知る消防士と共にドローン技術を学ぶことで、より実践的な実習となっている。 2. 授業アンケート、オープン授業後に講師と面談を行い、授業の問題点に対する課題提案を行い、授業改善に繋げている。学校満足度向上に向け、常にフィードバックから修正を行っている。これらも含め、成績不良が予想される学生に対しては、早期段階から補習や特別授業を実施し、不足している部分を補う体制を整備している。	2	2.2
	4-14 資格取得率の向上が図られているか				
	4-15 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか				
5 学生支援	5-16 就職に関する体制は整備されているか	【総括】 1. 就職支援について キャリアセンターと教務が一体となって就職支援にあたっている。就職講座や企業合同説明会などを開催することにより、就職意識を醸成している。 2. 資格支援について JESCO※国家試験対策センターで試験の傾向・学生の能力・動向を分析し、全員合格を目指した授業サポートを行っている。 ※ JESCO:滋慶教育科学研究所 3. 卒業支援について 同窓会活動として卒業セミナーの開催と、卒業生の再就職希望者へのキャリア支援をしている。  【課題と改善案】 1. 同窓会活動が課題である ⇒学校全体としての同窓会を組織しており、学科毎に勉強会や研修会を実施しているが、学科間での活動の差があることは否めない。 卒業生がスキル向上するための学習チャンスとなる、同窓会の整備が必要である。 2. 教育費負担軽減新制度に対する準備を進める ⇒行政のスケジュールに合わせた、申請書類等の準備(専門部署も設置)。	1. カウンセラー(臨床心理士)が勤務するSSC(Student Survice Center)が整備され、入学前保護者会にてSSCを紹介して、リーフレットを配布している。	3	3.0
	5-17 退学率の低減が図られているか				
	5-18-1 学生相談に関する体制は整備されているか				
	5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか				
	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか				
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか				
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか				
	5-19-4 課外活動に対する支援体制は整備されているか				
	5-20 保護者との連携体制を構築しているか				
	5-21-1 卒業生への支援体制はあるか				
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか					
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか					

大項目	点検・評価項目	自己点検・自己評価項目 【総括】・【課題と改善方策】	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	自己評価	学校関係者評価
				優れている…3 適切…2 改善が必要…1	優れている…3 適切…2 改善が必要…1
6 教育環境	6-22 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	【総括】 1. 施設設備等について 施設・設備・機器等は法令に準拠しており、職業人教育を実践する上での整備は出来ている。 2. 学外実習・インターンシップについて 学外実習については、充分な教育体制を整備しており、学科ごとに企業・施設と連携した実習計画がなされている。	1. ITメディア学科のeスポーツ実習室、プロジェクションマッピング・ワークルームを改装し、より実践的な学習環境を整えた。 2. 新設学科設置に伴い、実験園場、アクティブラーニング教室、ロボット実習室などを整備した。また、オンラインと対面型のハイブリット教育を推進していくために、全館Wi-Fiを導入した。	3	3.0
	6-23 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3. 防火・安全管理について 学園が所有する敷地・施設が広大なため、新たに消防計画書を作成し、統括防火管理者と敷地ごと(3区画)の防火管理者を選任。年に1度、消防本部、環境整備関連会社による防災訓練を実施している。			
	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	【課題と改善方策】 1. 老朽化施設の更新や、教育課程編成委員会での指摘事項の改善が課題である。 ⇒老朽化した実習室、実習資機材は優先順位の高いものから計画を立てて整備又は購入する。			
	6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	2. 海外研修の見直し。 ⇒海外研修は2学科のみの実施となった。海外研修の意義を見直した上で、姉妹校との共催や学科間合同各で実施可能な海外研修プログラムを検討する。			
7 学生の募集と受け入れ	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	【総括】 1. 学生の募集について 入学に関しては進路各連の定められたルールに基づいた募集開始時期を遵守している。募集要項の内容を広くWEB上で公開し、適正な募集活動を行った。 2. 入学選考について 入学選考は募集要項、入学試験規定を定めこれを運用しており、合否についても公平、厳正に実施している。	遠方や新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、YouTubeによる学科情報配信やオンラインによる個別の進路相談などを実施している。さらに、「5G時代のお仕事BOOK」ツールを作成し、劇的に変化する社会環境とこれから注目される「新しい仕事」の魅力や、高校の進路指導部と連携し、高校内で進路を考える授業の教材として活用した。	3	3.0
	7-25-2 学生募集活動は、適正に行われているか	【課題と対策】 1. 入学定員を充足する。 学科の教育力向上及び、新学科、専攻等の開発 ⇒Web(特にスマートフォン)中心に本校の最新情報を提供する。プログラマーやドローン技術者など、社会の注目度の高い「新しい仕事」の魅力やWEB、SNSを通して発信する。 本校の最新情報提供を常に行える体制を築く。			
	7-26-1 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	2. 産学官協同教育、テクノロジーによる個別最適化教育の見える化 ⇒業界との連携先の増加と実績をWEB中心に発信する。 ⇒Ed-techの取り組みをWEB中心に発信する。			
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3. 遠方地域受験者に対するサポート強化継続 ⇒地方都市での出張説明会の継続 道東会場:北見市、釧路市、帯広市 道南会場:函館市 道北会場:旭川市			
	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか				
	7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか				
8 財務	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	【総括】 1. 財務基盤について キャッシュフローの経営を重視し、収支と支出のバランスはとれており繰越収入超過金は無い。 2. 予算・収支計画について 校舎の老朽化や施設整備が必要なため、計画的な収支計画・事業計画を作成し、毎年段階的に設備投資が出来るよう、学校及び法人運営の中長期的な財務基盤の安定に努めるには支出を削減するだけでなく、学納金の回収率アップにも重点を置く必要がある。 3. 財務情報の公開について 2013年度から、毎年本校ホームページにて公開済みである。	1. 中長期的事業計画を立て、その中で収支計画を作成している。 2. 四半期ごとの収支実績の把握、及び修正予算の作成と、監事及び公認会計士による監査を行い、適切な学校運営を実践している。 3. 財務状況は理事会及び評議会においても年4回のチェックをおこなっている。	3	3.0
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	【課題と改善方策】 1. 監査における指摘事項の改善推進 PDCAサイクルを実践できる組織とする。			
	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか				
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか				
	8-30 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか				
	8-31 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか				
9 法令等の遵守	9-32 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	【総括】 1. 関係法令・設置基準等の遵守について 書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓が出来ており、財務情報公開の体制整備も出来ている。 2. 個人情報保護について 2005年4月1日に個人情報保護の体制は完了しており、教職員への啓蒙のための研修制度やその運営体制の整備に力を入れている。「TRUST-e」より国際規格の認証を獲得している。 3. 学校評価について 2014年度から、自己点検・自己評価についての方針、実施を開始し委員会を組織し運営している。	1. 本校ホームページ上で財務状況、及び教育課程を含む運営状況について情報公開を行っている。	3	3.0
	9-33 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	【課題と改善方策】 1. 教職員への周知と研修を継続する。 全体会、各会議、研修を通して、現時点の進捗状況の報告や学習会、全員参加の研修会を開催する。			
	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか				
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか				
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか				
	9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか				
9-35 教育情報に関する情報公開を積極的にやっているか					
10 社会貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	【総括】 1. 社会貢献・地域貢献について スポーツトレーナー学科、鍼灸師学科、柔道整復師学科、義肢装具士学科がアクセスサポロにて学生が日頃の学びを活かして治療やトレーニング指導を実施し、高齢者の健康増進に貢献した。 2. ボランティア活動について Redbull主催のスポーツ大会等で、医療スタッフとして大会を支えた。 東京オリンピック マラソン大会の参加選手と大会運営を支えた。	【ボランティア活動】 2022年度には恵庭市のガーデンフェスタが開催されるため、学生へのボランティアを募っている。  【社会貢献】 北海道ハイテクACは2つの事業で構成されている。小学生から中学生を対象とした総合型地域スポーツクラブで現在の会員数450名プログラム参加者600名、又恵庭教育委員会からの要請で市内小学校の体育授業へ職員を派遣している。又各地域の体育協会からの要請で陸上の指導教室、一般企業からのイベント依頼等様々な活動を行っている。もう一つの事業の社会人アスリート支援事業は動き乍ら陸上活動をするトップアスリートを支援することで社会人競技者の活性化とスポーツに拘るすべての人々へ社会貢献に寄与する。	3	3.0
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	【課題と改善方策】 1. 新型コロナの影響で、地域とのコミュニケーションや各種大会やイベントの中止、ボランティアへの参加が減っている。  改善方策 2. 感染対策に注意しながら、地域とのコミュニケーションやイベントへの参加を行っていく。			
	10-37 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか				